



KIVA

MODULAR WST® LINE SOURCE



KIVAラインソースシステムの再生周波数帯域幅は80Hz~20kHzです。低域を拡張するKILOキャビネットを加えれば、このレスポンスを50Hzまで広げることができます。

KIVAのバスレフ型エンクロージャーには6.5インチのドライバが2つと、高域を生成するための1.5インチのHFダイアフラム・コンプレッションドライバがDOSC®ウェーブガイドと共にマウントされています。パッシブ・クロスオーバー・ネットワークは、内蔵のフェイズ補正とともに2次フィルターを機能させます。

同平面に並んだV字型のトランスデューサー構成により、パターンコントロールが放射軸に対して左右対称で水平方向に100°のポーラーパターンを生みます。このとき、周波数帯域で干渉は一切生じません。

高域帯でコプラナーシンメトリーとDOSC®ウェーブガイドの特徴を組み合わせることにより、5つのWST®基準すべてに適合します。よってエレメント間の音響的なカップリングを破壊することなく、KIVAラインソースの波面をエレメントごとに最大で15°までカーブさせられます。

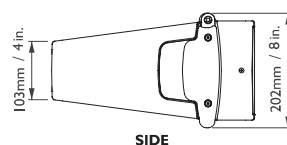
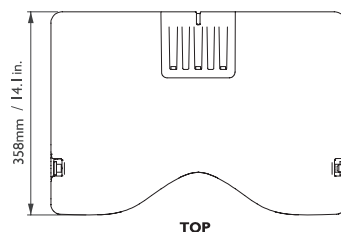
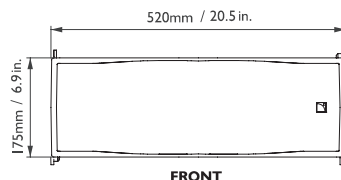
内蔵された、ダイキャストの3ポイント・リギングシステムが完全に一体化されているKIVAキャビネットは最高で20台、もしくはKIVA 12台とKILO 4台を適切にフライングすることが可能です。

KIVAのキャビネットは優れたメカニズムと音響特性を持つ、独自の合成素材から作られています。これはパルト海産のカバの合板に非常によく似ていますが、湿気に強いという利点を持ち合わせています。

KIVAのコントロールとドライバにはL-ACOUSTICS®LA4jpを使用します。KIVAのパフォーマンスは、選択したプリセットと物理的なシステム構成に依存します。



周波数特性(-10dB)	80 Hz - 20 kHz ラインソースアレー 構成
公称の指向性(-6dB)	水平方向: 110° 左右対称 (500 Hz - 18 kHz) 垂直方向: エレメントの台数とラインソースの湾曲具合に依存 エレメント間の角度は0°~15°
最大音圧レベル ¹	130 dB ([KIVA] プリセット)
入力 (連続)	120 W
コンポーネント	LF: 2 x 6.5" 耐水性 HF: 1 x 1.5" ダイアフラム・コンプレッションドライバ 公称インピーダンス: 8 Ω
リギング ²	キャビネットに収納、公認されたハイグレード・スチールの使用により KIVAを20台、又はKIVA 12台+KILO 4台を連結可能 (BGV-C1 規格準拠) 角度設定: 0、1、2、3、4、5、7.5、10、12.5、15°
フィジカルデータ	W x H/h x D: 520 x 175/103 x 358 mm 重量: 13kg コネクター: 2 x 4-pin ノットリックスピコン マテリアル: 合成素材、亜鉛とスチール 仕上げ: グレイブラウン RAL 8019® フロント: プラスチックグリル、音響透過性のあるAimet製のグリルクロス (黒) リギング: 一体化された、フライングハードウェアとハンドル (スチールにサンドブラストコート)



¹ プリセットと適切なEQセッティングで、10dBのクレストファクターを持つピンクノイズを用いて計測した、自由空間上 1 mでの最大音圧レベル
² インストールレーションのガイドラインは、L-ACOUSTICS®製品使用のために作られたSOUNDVISIONソフトウェアに規定されています。

ベストエックオーディオ株式会社

WWW.L-ACOUSTICS.COM

仕様規格・外観は、予告なく変更することがあります。

本社 〒130-0011 東京都墨田区石原 4-35-12 TEL 03-6661-3825 FAX 03-6661-3826

大阪営業所 〒513-0072 大阪市北区豊崎 3-4-14 - 602 TEL 06-6359-7163 FAX 06-6359-7164

URL: <http://www.bestecaudio.com>

Email: info@bestecaudio.com